

## 令和5年度 第2回施設運営協力委員会記録

日時：令和6年3月7日(木) 10:30~12:00

場所：ネイパル北見 第1研修室

出席者：委員8名(別紙委員名簿参照)

福田理事、田中副所長、風間社会教育主幹 計11名

## 【理事挨拶】

- ・令和5年度第1回施設運営協力委員会で、委員の皆様にご相談していた食堂業者の件ですが、令和6年4月からは直営で運営することになった。また、近年の物価上昇に伴う経営関係や職員の途中退職による人員減などで、施設の運営が厳しい状況が続いている。その中でも施設をより良く運営していくために、委員の皆様方には忌憚のないご意見やご指導をいただきたい。

## 【議 事】

## ○令和5年度施設運営について

## ①利用者状況について

- ・令和5年度の利用者の状況、述べ利用者数の状況について説明。

## ②主催事業状況について

- ・令和5年度の主催事業の回数は、追加事業も含めて19回実施。
- ・参加者充足率は、管理の目標で90%の基準となっているが、29.1%上回り、目標の評価基準を達成している。
- ・第3半期の主催事業の報告書については別紙資料となっている。報告書の説明は割愛させていただく。

## ③アウトリーチ事業等について

- ・利用促進、各種広報活動、地域との連携協働について説明。

## 【委員からの質問、意見など】

- ・近年の気温上昇に伴う、施設の対策を伺いたい。(A委員)

→今年度すでに、暑さ対策として、エアコンを5個購入した。次年度に入ったら、食堂や講師室、第2研修室に設置を検討している。また、道教委でも3台スポットクーラーを購入した、同様に次年度に向け設置し活用したい。

主幹：熱中症対策ということでは、今年度は熱中症アラートが複数回発令された。

熱中症アラート発令された場合、外での活動はできなくなる。今年度は熱中症アラートに関わって、北見市が臨時休業になったこともあり、宿泊研修を延期し学校もあった。今後はそのような事態の対応も想定し置かなければならない。

- ・冬季のおススメとなるプログラムは何か。(B 委員)

→冬季ではないが、通年で実施可能なプログラムを開発し、受入れ団体やアウトリーチ事業などで実施している。(プログラム名：オニおんに)

B 委員：身近なところにサロマ湖や雪や雪山があるので、それらを活用したプログラム開発を行ってはどうか、インバウンドの方にも良いのではないか。

- ・利用料金の改定の話があったが、昨今の物価上昇などを考えると致し方ないところもあるが、どれくらいになるのか。

→まだ条例が決まっていないので、現状では詳細はわからない。

- ・主催事業で中学生が対象に含まれる事業もあるがどの程度の参加があるのか。

(C 委員)

→それほど参加は多くなく、一番近い事業で5名程度の参加があった。部活動などがあり参加は難しいかもしれない。一方で最後の小学校低学年向けの事業では中学生ボランティアをこれまでの参加者に声かけをして募集している。(小学生高学年もボランティア参加してくれる予定である)

- ・障がい者、不登校対象の「チャレンジキャンプ」はどのような感じだったのか。

→不登校の児童生徒の参加はなかった。障害のある児童の家庭が5家庭参加した。不登校については、継続して日帰り北見市の教育支援センターの利用をいただいている。(D 委員長)

#### 【情報提供】

- ・次年度の取り組みの説明。ホームページのリニューアルを実施する。WiFi 設備の設置や電子決済については好評でありアンケートにも反映されている。先ほどの話にもあったクーラーもそうだができることから環境整備を行っていきたい。

- ・利用料については、コロナ禍は旅行支援があったが、軒並みホテルは値上げしている。これは、大手旅行関係会社が AI を駆使して料金を設定しているため、ビジネスホテルと競合しては、道立施設の意味がなくなる。ネイパルに来てもらえるように PR を考えていかなければならない。インバウンド向け冬のプログラム、冬を体感してもらうプログラムなどが良いのではないか。(E 委員)

- ・一方で地元子ども達を大切にしてほしい、地元ニーズはある、地元から愛される施設づくりをお願いしたい。(B 委員)

#### 【事務局より】

- ・今回の施設運営委員会を持って、各委員の任期2年が終了となる。
- ・次年度も委員協力のお声がけをさせていただくので、御協力をお願いする。